

連続講座のご案内

素顔の地球に出会うー人類学者たちのフィールドワーク

現地におもむき、人びとと暮らしをともにしながら調査をおこなうフィールドワーク（現地調査）。20人の研究者の調査を綴った「フィールドワーク選書」全20巻完結にあわせて、連続講座を開催します。研究論文からはこぼれ落ちてしまうような、出会いや葛藤、予想外の展開など、研究者がひとりの人間として現地社会と向き合う様子をお話します。（講義（70分）終了後、講師を囲んで懇談会（40分）をおこないます）

【第1回】6月11日（土）13:30～15:30

南太平洋のサンゴ島を掘るー女性考古学者の謎解き

講師：印東道子（国立民族学博物館教授／専門：オセアニア考古学・人類学）

資源に乏しいサンゴ島に、人はいつから住み、どんな生活をしていたのでしょうか。出土遺物から明らかになる驚きの事実とともに、ミクロネシア・フィリス島の人びとと飲びを分かち合った発掘調査についてお話します。

【第2回】9月10日（土）13:30～15:30

人間にとってスイカとは何かーカラハリ狩猟民と考える

講師：池谷和信（国立民族学博物館教授／専門：環境人類学、人文地理学、生き物文化誌学）

水分補給に、食用に、時には家畜の餌に……。ともに暮らしたカラハリ砂漠の狩猟民は「スイカがあれば人は生きていける」と語ります。”砂漠の水がめ”スイカが織りなす南部アフリカの暮らしについてお話します。

【第3回】11月12日（土）13:30～15:30

シベリアで生命の暖かさを感じる

講師：佐々木史郎

（国立のアイヌ文化博物館（仮称）設立準備室主幹／専門：文化人類学・北アジア研究）

マイナス40度を超える極寒の世界で人はどのように生きるのかー。厳寒世界を包み込むのは、そこに住む人間と自然の暖かさでした。シベリアやロシア極東、中国東北部の遊牧民・狩猟民を追った30年を振り返ります。

[写真撮影・上から印東道子、池谷和信、佐々木史郎]

☎電話、メール、FAXにて受け付けております☎

FAXをご利用の方は下記に必要事項を明記のうえ、ご送付ください。（FAX:06-6878-3716）



【会場】

モンベル渋谷店 5F サロン

（渋谷区宇田川町11-5 モンベル渋谷ビル）

【参加費】

各回1,000円 / 3回連続2,500円

（国立民族学博物館友の会会員は無料）

要事前申し込み／先着60名

※実施1週間前を目安に参加証をお送りします

お名前

申込希望日：6/11（土）・9/10（土）・11/12（土）

ご住所

お電話番号／FAX番号

会員番号

（国立民族学博物館友の会会員の方はご記入ください）

《連続講座「素顔の地球に出会うー人類学者たちのフィールドワーク」に関するお申し込み、お問い合わせ》
一般財団法人千里文化財団 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1（国立民族学博物館本館3F）
TEL：06-6877-8893（平日9時～17時） FAX：06-6878-3716 e-mail：minpakutomo@senri-f.or.jp

ほか東京と大阪で関連する催しを実施します。あわせてご参加ください

【みんぱくブックフェア&トークイベント】

・会場：ジュンク堂書店大阪本店3F

・期間：5/9（月）～7/10（日）

〈トークイベント〉

・日時：5/20（金）19:00～（要事前申込）

関雄二×印東道子×白川千尋（編集委員）

・主催 [申込み・問合せ]

ジュンク堂書店大阪本店（06-4799-1090）

【連続講座「カレッジシアター地球探究紀行」】

・会場：あべのハルカス近鉄ウイング館9F

「スペース9」

・開催時間：13:00～14:30

※8月を除く4月～9月（毎月2回）

・主催 [申込み・問合せ]

産経新聞社（06-6633-9087）

[共催：近鉄文化サロン、スペース9]

【みんぱくブックフェア&トークイベント】

・会場：三省堂書店神保町本店

・期間：7/20（水）～8/31（水）

※会期中、選書執筆者によるトークイベントも予定しております。
詳細確定次第、ご案内いたします。

・主催 [申込み・問合せ]

三省堂書店神保町本店（03-3233-3312）